

林檎の森

りんごのもり

9
2021
vol.470

特集

先端技術を駆使したスマート農業



特集

果樹農業の現場では、依然として人手に頼る作業や熟練者でなければできない作業が多く、省力化、人手の確保、負担の軽減が重要な課題となっています。これらを改善する一つ的手段としてスマート農業があり、日々進化を遂げています。今回はその魅力をお伝えするとともに、最新の農業機械に興味を抱いてもらえると幸いです。

先端技術 を駆使した スマート農業

▶スマート農業とは、ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業のことを指します。

農業用無人機R150 ▲



園地環境の見直しも大切

夢を与えるような世界へ

先端技術を駆使したスマート農業を活用することにより、農作業における省力・軽労化を更に進めることが出来る時代がやってきた。青森県や弘前市などの行政においても作業の自動化を模索しており、ロボット及びICT技術の活用に期待がかかっている。

現在、リンゴ生産現場においては草刈り・農薬散布・運搬作業などの自動化が進められており、GPSの活用で人間がスマートフォンなどで指示を出すことによって機械が自動で作業してくれ、品質

向上に貢献している。もちろん、機械の導入にあたっては平坦な園地やワイ化栽培が適しており、ロボット機械に対応した園地整備が求められてくる。ただ単にロボットを導入すれば良いという訳ではなく、スマート農業に適した園地環境の転換を視野に入れていかなければならないところだ。

数多くの自動機械が現れてきている中でも、自動草刈機の普及が目立ってきており、経営規模が大きい農家や若手生産者が導入を進めている。今回紹介するワドーやハスクバーナー製のロボット草刈機については、いずれもエリアワイヤーを設置し、エ

リア内の草をランダムに走行して刈る仕様となっている。従来までは、伸びた草をその都度、人が刈っていたものの、ロボット草刈機は常



エリアワイヤー

に刈り続けるため、ゴルフ場の芝生のように一定の草丈を保ってくれる。また、バッテリーが無くなりそうになると、チャージステーションに自動で戻り充電し、充電完了後は自動で草刈りを再開する。

現段階では、平地を前提とした活用であり、機種によっては伸びすぎた草を刈ることが難しいものや傾斜地での稼働が困難なものも挙げられる。それぞれの機械の特徴や性能を理解しながら今後の活用に役立てて頂きたいところだ。

一方、農薬散布については、産業用無人ヘリコプターやドローンによる活躍が目立ってきている。これは、下降気流での防除が可能な水稲や野菜の生産現場で用いら

れ、立体的な樹形の果樹においては散布ムラや散布量の少なさ等の観点から現実的ではないのが現状だ。特に、リンゴにおいては葉に覆われている為、下降気流による散布では完全な防除が困難となっている。樹幹内部まで薬剤を通さなければならぬことから、スปีドスプレーヤのように地上からの散布が理に適っていると言える。もちろん、薬剤散布にあたつては、薬剤が通りやすい枝づくりも求められ、機械化に向けては機転をきかせていく必要がある。

今回の特集では、最新鋭の農業用機械を紹介するとともに、各種の作業動画をWEB上でも紹介致します。QRコードをスマートフォンで読み取るによりご覧いただけますので、そちらも併せてご覧下さい。

クロノス KRONOS MR-300

◆ WADO ロボモブ

地面の凹凸など、様々な条件下で安定したパフォーマンスを発揮し、雨の日の作業も可能。左右どちらにも回転する刈取部分と負担制御により、様々な雑草を刈り取ることが可能で、刈った草は細かく刻まれるので集草の必要もない。

※他機種と違って落下果実等の障害物にも強いと感ずる。



卓越した走破性が魅力



オートマモブ AUTOMOWER 435X AWD

◆ Husqvarna

芝刈を前提に考案され、個人宅や学校などで使用されてきた。雨が降っても問題なく草刈りを行い、近年は果樹園での稼働事例も増えている。また、カッティングモーターにかかる負担を感じし、草を刈る必要がない場合はチャージステーションで待機する。

※35°の傾斜まで可能。他機種と比べて斜面に強いと感ずる。



傾斜があっても、ぐんぐん登る



農業用無人機 R150

農業ニーズに応じ、効率的な作業を実現

◆ XAG

農業ソリューションのために開発された「R150」2020版農業用無人車。複数のバージョンがあり、用途に合わせて利用可能となっている。現在は、散布バージョン・運搬バージョン・拡張バージョンが公開され、今後はオプションで草刈機能も追加される見込みだ。R150は自分好みにカスタムできることが魅力の一つとなっており、その能力は自由自在



ノズルが上下回転し、散布量も豊富



粒子の大きさも設定でき、散布ムラも非常に少ない



樹幹内部までしっかりと散布されていた



タンクを取り外して運搬車としても活躍

と云っても過言ではないだろう。GPS機能も用いられており、多彩なパフォーマンスを発揮する。R150の特徴をそれぞれ紹介したいと思う。

▼ 散布バージョン

果樹でも有効的な、地上からの自動薬剤散布を可能にしたR150。スマートフォンで走行経路を設定することで自動的に薬剤散布をしてくれる。散布ノズルも上下

▼ 運搬バージョン

回転角度が自由に設定可能なほか、散布粒子の大きさまでも自在に調整できる。ノズルを下向きに噴射することで除草剤散布などにも対応可能だ。

自身で設定した地点を自動で運搬してくれる往復モードが搭載されている。この機能を使えば、収穫時に園地の選果場と自身が収穫作業をしている樹の間を往復運搬してくれるのだ。積載重量は150kgで、タイヤもキャタピラ式に変更可能となっている。また、追従モードも搭載されており、設定した距離を一定に保ちながら追従してくれる。肥料を播くときなどにも活用できる。R150は様々な夢を叶えてくれる1台であり、今後の普及に注目だ。



◆ atex 神刈

最大作業角度45°を可能としたハイブリッドラジコン草刈機。草刈り中はエンジンで、その他の移動は電動で走行する。作業角度に応じて自動でエンジンを左右に最大20°傾斜することで急斜面における作業を実現させた。刈刃の高さも調節可能。

※充電しながら走行するため、燃費も向上。急斜面にはコシ！



傾斜45°まで草刈り可能

剪定枝フォーク

◆ OREC

冬の農作業も春先までズレ込む一面が見られており、剪定作業については剪定枝の収集も生産者の負担となっている。アタッチメントを草刈機に装着し、収集効率を向上させることができる。

※フォークやバケットの角度調整も可能。



草刈機に装着して走行

肥料散布機（試作機）

◆ Kubota

肥料散布においても省力化を図るため、牽引式の散布機を試作している。車輪の回転に合わせて駆動する仕組みとなっており、散布量の調節や残量の把握も容易となっていた。

※肥料散布においては樹の根元付近まで散布できるようにし、今後は更に改良されていく見込みとなっている。



草刈機に牽引して走行

▼近未来的な農業

最先端技術を取り入れた最新鋭の農業機械が登場し、夢のような世界も遠い話ではなくなってきた。機械が自動的に作業を補助してくれる中で、やはり高品質生産には人の手も掛けなければならぬことを忘れてはならない。先人が築き上げてきた栽培技術や知識を活かしながら取り入れていきたいと感じる。省力化や軽労化が進められていく一方、新規就農者の確保や栽培技術の継承も期待されているスマート農業。熟練農家の農業技術をICT技術により若手農家に継承することも可能となってきた今、各ロボット技術の長一短を理解しながら活用していただきたいと思います。今後もみなさんと情報を共有しながら、更なる農業の持続性発展に取り組んで参ります。

（農林水産省HP参考）

topics

立派な野菜達が 収穫出来ました

01

8月11日、相馬こども園に植えたトマトやキュウリ、カボチャ等の収穫が行われた。

園児らは大きな葉で隠れたカボチャを探したり、大きくなったジャガイモを抜く作業をとて楽しそうに行っていた。中でも枝豆の収穫作業では一つ一つもぎ取ること、に苦戦しながらも、実が大小ある事や一つの莢に2つや3つ入っている違いがある事に気付きながら、園児同士で楽しみながら取り組んでいた。



一生懸命枝豆をもぎ取る園児ら

topics

加工専用園の栽培に 知識深める

02

8月18日、相馬りんご支会連合会では、夏期研修として(有)白神アグリサービスにて加工専用園を視察した。

園地の管理を行っている木村才樹取締役は「21町歩程リンゴを作っているが機械でほとんどの作業を行う為、上手く作業は回っている」と話していた。

会員らは、「初めて見る加工専用園と、収穫機やリンゴを拾う機械を見ることが出来てとても刺激になった」と話していた。



大型作業機械の機能性に驚く会員ら

topics

今年最後の巡回講座開催

03

8月23日、今年最後である4回目の現地巡回講座が各地区で行われ、151人の生産者が参加した。

同講座には販売課が同行し、つがるときおの目揃いが行われ、生産者が気になる収穫適期を確認した。

販売課職員は、がくあ部まで着色が進む前に収穫する事やサビ果はどの範囲までいいのか等を説明した。

本格的に始まる収穫作業を控え、生産者らはサンプルを見ながら目合わせを行っていた。



サンプルを確認し目揃いをする生産者ら

topics

より良い営農をする為に

04

8月30日、昂地区の今祐介さんの園地にて、GH農場評価研修が行われ、講師は全国農業協同組合中央会の高橋昭博さんが行った。

研修は、初めに今さんから農薬の使用方法や保管方法、廃棄方法などの聞き取りを行ない、その後現場を確認しながら改善方法を学んだ。

今さんは、「今普通にやっている事でも、整理整頓や配置換えを工夫する事で作業をスムーズに行う事が出来る。今日もらったアドバイスを基に見直していきたい」と話していた。



農薬を保管している状況を確認する今さん(右)と高橋講師



多くの乾燥中の土が並ぶ

topics

土壌診断の受付がピーク

05

これまで収穫後に実施していた土壌診断は、その結果を基に肥料の注文を行う事に時間の余裕がなかったとし、夏に診断を行う事とした。

近年、カルシウムや苦土などの欠乏症などが園地で確認されている事、より品質の良いものを生産したいという事から診断の受付は少しずつ増えており、8月末の時点で例年の半分以上が提出されている。今後も適期適正な施肥をする為、夏の土壌診断を普及していきたい。



多くの生産者が入庫に訪れた

topics

鮮度を重視した意識へ

06

管内ではつがるの収穫作業が最盛期を迎えている。

今年産からスタートした新たな着色目安の設定があつたことから、それに準じた収穫基準で収穫するよう周知した事で、早出しサンツがるの出荷者が昨年に比べ2倍以上となった。

入庫にきた生産者らは「今年から軟化する前にすべりもぎをすることにした」と鮮度を重視した意識が伺えた。

新しい着色目安は早生ふじ系まで適用される為、今後も適期収穫を周知していきたい。



県大会、東北、北海道ブロックで勝ち上がった佐久間さん

topics

7道県代表で 全国大会出場

07

9月1日、令和3年度東北・北海道地区JA女性組織活動体験発表審査会がウエブ会議にて行われた。

この大会は7道県から各地区1人が参加し、当JAからは女性部理事の佐久間結華里さんが出場。

相馬小学校3年生を対象とした「りんご体験学習」が一度頓挫したが、地域コミュニティの強化を図り、復活するまでを紹介した発表で、見事北海道・東北ブロックの代表となり、全国大会出場を決めた。

来年1月に全国大会が開催予定である。



農作業事故には十分に気を付けましょう!!



農繁期に入ると、農作業事故が毎年多発します。

それは、毎日の農作業の中に大きな事故が潜んでいるからです。

例えば、梯子を使っの作業やスピードプレイヤからの転落事故、草刈り機での過信した運転による事故等様々ないつもの何気ない作業の中に事故の原因が潜んでいます。

また、携帯電話を持ち歩く事も事故が起こった時に早期対処の一つとして重要な役割をします。

事故が起きる原因の一瞬の誤りが、一生の後悔に繋がる可能性があります。

改めてもう一度、作業前に安全点検して楽しい農作業にして下さい。

直売所「林檎の森」

直売所 三上翔平



いつも直売所「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。ございます。

お盆は法界折やお墓参りへ持つて行く果物、お菓子、切り花を買い求めるお客様で大変賑わっていました。

そのほか、先月上旬から入荷していた嶽きみも出荷のピークが終りました。

また、メロン、スイカ、嶽きみの発送では、北は北海道から南は九州まで幅広く全国的に発送注文がたくさんありました。

そのほか、店頭には徐々にリンゴのつがるやきおう等が並び、特産果樹ではブドウや桃が出荷されています。また、野菜の棚には馴染みの少ないカボチャのよつな形をしたズッキーニが稀に入荷し、物珍しさから購入していた方もいました。

収穫作業や着色管理作業が本格的に始まり、忙しい日々が続きます。

すが、休憩時間に直売所で新発売となった「オレンジシフォンケーキ」はいかがでしょう。あつさりとした生クリームとクリーミーな味、ふんわりとした生地で美味しさと共に癒されると思います。

そして、会員の皆様にも願ひがあります。野菜、果物など毎日出荷してくださり大変ありがたいのですが、新しい野菜、果物が多くなると出荷日の古いものは売れ残ってしまうやすく、日付が経つことで鮮度も落ちてきます。そこで、出荷する際は自分で出荷したものが残っていないか確認をお願い致します。これからリンゴや果物が特に多くなってくるので品質管理へのご協力お願いします。

※引き取りしないなど青果物の腐敗などがある場合はこちらで処分する場合もありますのでご了承ください。



新発売「オレンジシフォンケーキ」



カボチャとズッキーニ

夏野菜が大活躍

当直売所では、上記にもあるようにズッキーニ等の夏野菜が種類豊富に入荷しています。夏野菜はトマトやトウモロコシ、キュウリなど色が濃いものが多く、色が濃い夏野菜は夏の紫外線から身を守ろうと、ビタミンCやEを豊富に含んでいます。これらの栄養素には抗酸化作用があり、体内の活性酸素を除去してくれる働きがあります。活性酸素が増えすぎると生活習慣病やがんなどの病気を引き起こす恐れがある為、夏野菜を食べて健康な体を維持しましょう。



色豊富な夏野菜がお客さんを引き付ける

果実販売動向

販売課 田中 瑠偉



毎日の農作業お疲れ様です。

8月の果実動向は、夏果実を中心に数量減の単価高で推移しました。

スイカについては、猛暑が続いたことからカット売りの消費が伸び、量販店の荷動きは活発で、高値基調での推移となりました。

桃については、他県産地の少なから売場の縮小が進んでいますが、中秋節向け輸出の引き合いが強いことに加え、流通量の少なから高値基調の販売が続いています。

梨については、雨の影響による収穫遅れから総体量が少なく、高値での販売が続いていましたが、これまでの高値から荷動きは鈍化傾向となりました。

りんごについては、本県産の晩生種やNZ産の仲卸在庫が多く低調に推移する中、長野県産早生種がスタートし、シナノリップについては着色・食味等から引き合いは強く、高値基調での販売となり

ました。サンつがるについても、堅調なスタートとなりましたが、潤沢な入荷となるにつれてヤケや色薄等下位等級品比率の高さから積極的な売場の切り替えは図られておらず、品揃え程度の売場に留まり、下げ基調での展開となりました。よって、企画販売は本県産から本格的に組み込まれることとなります。

本県産のきおうについては、香港の中秋節需要により、強保合いでのスタートとなり、8月中旬に70%ほど出荷終了しています。

産地市場については、昨年が最高値でスタートしたことから65%ほどの単価で推移しています。当JAでは8月末より本格的な出荷となり、順調に販売されています。特に川中島白桃については堅調価格となっています。

今後、サンつがるの販売がピークとなりますが、各産地が出揃ったところで日々下げ基調となりことが予想されますので、品質と小

売価格を見極めながら企画販売に取り組み、中生種、晩生種へと有利販売につとめますので、今後ともご利用の程よろしくお願いいたします。

単価は全農あおもりデータ（8／31累計）

品 種	サンつがる	きおう	その他	合 計
単 価 (円)	3,263	3,035	2,464	2,878
前 年 比 (%)	79	79	61	73



「つがる」の出荷に向けて選果と荷造りが進められる

いきいき女性部通信

事務局 桑田 歩



女性部では8月19日に夏期研修会を行いました。

まずは、西目屋村にある「道の駅 津軽白神 ビーチにしめや」に隣接する「味な工房」にて、そば打ち体験を行いました。

体験では、北早生そば粉を使用し、そば粉を混ぜる作業からスタートしました。

そば打ち体験の最大の魅力であるそば切り体験では、あえて太く切り弾力や風味を感じても良いとアドバイスを受け、きしめんの様なそばも完成していました。

完成した物を見ると予想以上に多く、「こつたにか（食 いねー）」と言いながらも全員が「弾力があつて風味もよくておいしい」と完食し、道の駅で大人気の白神はちみつソフトも食べていました。それではそば打ち体験の様子をご覧ください。

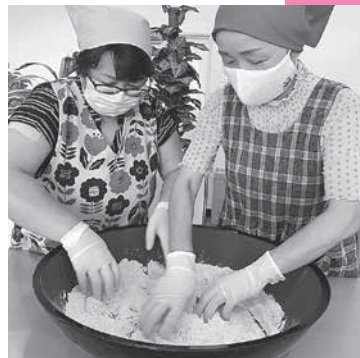
そば打ちの様子



③切るのが難しく、細麺、太麺になりながら丁寧に切る。



②棒を使って平らに大きく伸ばします。



①そば粉と強力粉をしっかり混ぜ合わせ、1つの塊になるまでひたすら混ぜる。



自分で作ったそばは格別な美味さ



直ぐに茹でて食べました。



④お手製そばの完成

そば打ち体験の後は、海を眺めに鯨ヶ沢へ移動し、道の駅「わんど」に到着。コーヒー屋さんで一服し、海鮮物を購入したり、それぞれ楽しんでいました。そしてほとんど海を見ることがなく次に、森田の道の駅、鶴田の道の駅など道の駅巡りをしながらその地域自慢の農産物を買って求めました。

このご時世であちこちへ出かけることが出来ない部員が多く、今回の道の駅を巡りを大変楽しんでいました。また、そば打ち体験も「また冬にでももう一度やりたい」と言う声も聞こえ、有意義な研修になったと感じています。

仲間と楽しい会話をしながら行われた夏期研修は当初はコロナウイルス感染拡大の為に中止となりましたが、「昨年何もしないから何かをやりたい」という思いで急遽行われた夏期研修でした。少人数で密をさけての移動やソーシャルディスタンスを保ちながらリスクを減らして行う事ができ、良かったと思います。



いつも当SSをご利用いただき誠にありがとうございます。また、平素から携行缶ガソリンの販売記録にご理解、ご協力いただきご利用のお客様には感謝を申し上げます。

先日行われた洗車祭り（7月3日から8月29日の毎週金曜日・日曜日）は天候にも左右されましたが、7月の洗車の売り上げは去年より1.2倍ほど増え、宣伝効果で洗車をするお客様が増えて満足して頂けるイベントとなったと思います。洗車をする事で車を長く乗ることが出来る事や、愛車の異変に気付くことが出来る等の意識を利用客に伝えていき、来年はさらに集客できるよう、頑張ります。

10月は「東北限定JA-SSで当ようキャンペーン」を開催する予定です。こちらはガソリン、軽油、灯油を2500円以上当SSで給油し、当キャンペーン専用はがきにレシートを貼り、ご応募していただくと豪華景品が抽選で

当たるキャンペーンです。詳細は決まっておりますが、決まり次第当SSに掲示してお知らせしますので、お見逃しのないようお願いします。

また、d払いのポイント還元キャンペーンも実施予定です。こちらも詳細は店頭に掲示しております。

組合員の皆様にお願ひがあります。最近給油カードの紛失が多発しております。特に掛売のカード（営農・貯金）は他人に悪用される可能性が高いです。また紛失されますと、再発行料550円が発生します。管理には十分にご注意ください。紛失した際はなるべく早く当SS従業員にお申し出ください。

最後になりますが、燃料油が高騰している時期が継続しており先行きがなかなか見えないです。当SSは利用客になるべく安くご提供できるように頑張っていますので、これからも

ご利用をどうぞよろしくお願い致します。

ガソリン価格高騰の背景

ゴールデンウィーク頃から価格が高騰しているレギュラーガソリンをはじめとする燃料ですが、背景には原油の値上げがあります。

コロナ禍によりガソリンの需要は減退し、生産量を減らしていましたが、ワクチン接種等の進展により燃料の需要が回復してきました。しかし、原油の生産体制は未だに変わらないことが原因のひとつとなっています。

今後、利用者の皆様には満足してご利用いただけるよう対応していきたいと思っています。



高騰を続ける燃料の価格

10月 イベント情報

- 毎週木曜日は**特売日!!**
- 第2・第4火曜日は**ポイント3倍デー!!**
- 10日・20日・30日は**店頭での灯油販売特売日!!**

ポイントを
ためて
景品をゲット

生産情報

農業振興課主任 米澤 松太



○りんご作業（9／15～10／15）

管内のりんごの肥大は、9月1日の調査でふじが74.6ミリと昨年と同じくらいの生育となっています。

今後の台風の発生に嚴重な警戒が必要です。防風網や支柱などを

点検し、気象情報には十分注意して下さい。

●除袋時の注意

除袋の際はりんごの果面焼けを出さないために次のような注意が必要です。

- ・一般的な二重袋では、まず外袋をはぎ、果実の色が黄色みがかつた時、あるいは薄い縞が入った時に内袋をはいで下さい。
- ・一発袋をはぐ場合には、曇天か晴天の日中（10時～14時）に行ってください。

また、外袋をはぐタイミングで果実に付着している葉を摘み取るようにしましょう。これは着色ムラをなくし、ハマキムシ類の被害を予防する場合にも有効です。

●被害を拡大させないために

黒星病・炭そ病等の被害果は、被害拡大を防ぐためにも、見つけ次第摘み取り、土中に埋めるなど適切な処理をしましょう。

果実に発生する疫病は、降雨時の収穫等によって、果実に泥が付着することで、冷蔵庫内や出荷先にて発病することから、降雨時の収穫の際にはできるだけ果実に泥を付着させないように収穫力ゴの底にネットを敷き、収穫力ゴを直接地面に置かないなどの工夫が必要となります。落下した果実を収穫果に混ぜたり、泥のついた手袋などでは果実に触らないようにしましょう。

●農作業事故には十分注意を

これからの時期は、夕暮れが早く農作業も忙しくなります。機械の取り扱いや、ハシゴの上り下りをする際は十分注意し、事故やケガのないように農作業を行いましょ。

2021年 農作物防除記録の回収について

※共同防除（共防連加入）の場合は一部記入が不要です。（りんごに限る）

※共同防除の場合は、代表者、構成員で記入が異なります。注意して記入下さる様お願い致します。

10月上旬に、職員が今年度の「防除記録」の回収に伺います。9月上旬に配布された記入例を参考に、「誓約書」と併せて必ず提出くださるようお願い致します。また、注意点もありますので、記入漏れがないようお願い致します。

なお、「農作業記録簿」等については12月上旬に回収にいたします。

地域おこし協力隊 活動記 Vol.76



上：マチ部分をねぶた絵にした紙袋

下：底部分も素敵！
テンション上がります！

中央下：ご祝儀袋。左端に少し見えてるのが和紙部分。個性様々なねぶた絵も最高です。



上：深い色で染めた和紙原料（紫）

下：渋色の雰囲気たっぷりの和紙が出来上がりました

中央上：大場さんが染めてくれた色、さすがのセンスと技です！



こんにちは！ 協力隊の石田です。

ねぶたの期間も終わりましたが、私は現在、紙漉の里の手漉き和紙と、相馬の雄大なねぶた絵を合わせて、ペーパーアイテムを試作しています。

封筒や手紙から試作は始まりましたが、紙袋とご祝儀袋を作ってみたところ、とても相性が良く、素敵なものが出来ました。

手漉き和紙の優しい風合いと、ねぶた絵の華やかさ。切り取る場所によって全く違う表情になる所も魅力的★

先日、紙漉隊のリーダーである大場良子さんと一緒に、この試作品に使おうと、渋色の和紙作りをしました。

紙袋の方は張り合わせ部分や持ち手の強度、ご祝儀袋はのし紙のフォントや文字が、今後の課題です。

引き続き試作を重ね、相馬らしい、誰かに贈りたくなるものを作りたいと思います。

(*) 相馬地区公式HP (<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/>)



農協役員室で——ネズミ盗聴記

元農協学園長

秋田 義信



油・売りとオンベとマムシの三人が農協の役員室でゴダグを並べている。いずれも「農協に用がある」と称して、畠から逃げてきた連中である。

オンベ「この相馬村などを『山の奥の方』などと弘前のマジの人達が言っけれども、大昔、平野部の方よりも山や海に近い所に人が多く住んでいたのだよ」

マムシ「田が少なくても？」

オンベ「米食以前、開田以前の時代は、山間部の住人はケダモノの肉や山菜を主食としていたんだ。海の方の人は魚を……長野県や山梨県などを見ろよ。田が少ないのに……」

油売り「ところで、本県に同じ村から国会議員が二人出た所……どこだ？」

オンベ「ウーン、この相馬村と……上北郡の旧上北町か？ 森田重次郎（自民）と米内山義一郎（社会）。津島文治知事が「本県に右木山、八甲田山のほか米内山という恐山

がある」と言ったそつだが、これは名ジョークと言われているな——」

オンベ「ところで衆議院の選挙？ 菅のネンプタでは自民党もハラハラか——」

油売り「この間の横浜市の選挙で、自分の地盤でありながら大敗したな——」

オンベ「あの人は苦勞人で努力家で首相にまでなった人だが、田中角栄のようなユーモアがない。いつも警戒しているような表情だな——」

マムシ「イギリスに於ける紳士の条件は服装とユーモアだそつだ」

オンベ「二階幹事長の人相も古色蒼然たるものだ」

油売り「二階？ 小池百合子にあやつられて」

マムシ「大島理森氏は引退するよつだが、あの人も笑顔を見せたことがなかったな——」



幸福は自心に

抱くものなり

他人に求めて

不平を言う

ことは

愚かなり

内村鑑三

美信

編集部をつぶやき～編集後記～

いつも広報誌「林檎の森」をご講読ありがとうございます。

今回の特集で紹介した農作業ロボットですが、昨今では少しずつ使用する生産者も増えてきているように感じています。このロボットを使う事で人手不足の解消や省力化の他、農作業事故に対するリスクも減るのではないかと考えています。

今後更に忙しくなる一方ですが、何気ない毎日の農作業の事故リスクを改めて振り返り、これからも農業を続けていけるように安心、安全に過ごしていきましょう。

コロナウイルスにも十分に注意して過ごしましょう。来月号もよろしくをお願いします。

By tomoshi

理事会だより

8月20日（金）

- 1) 決算書類監査結果について
- 2) みのり監査法人監査報告書について
- 3) 7月末残高試算表について
- 4) 第57回通常総会開催について
 - ① 「総会参考書類」の設定について
 - ② 議決権行使書面の取扱いについて
 - ③ 決算書類及び部門別損益計算書の承認について
- 5) 貯金規定及び貯金商品概要説明書の一部改正ならびにいくたびプラス事務手続きの廃止について
- 6) 貸付関係について
- 7) りんご販売関係について
- 8) 固定資産の取得等について
- 9) ライスセンター建設工事の進捗状況について

パズル？頭の体操

出題 ニトリ

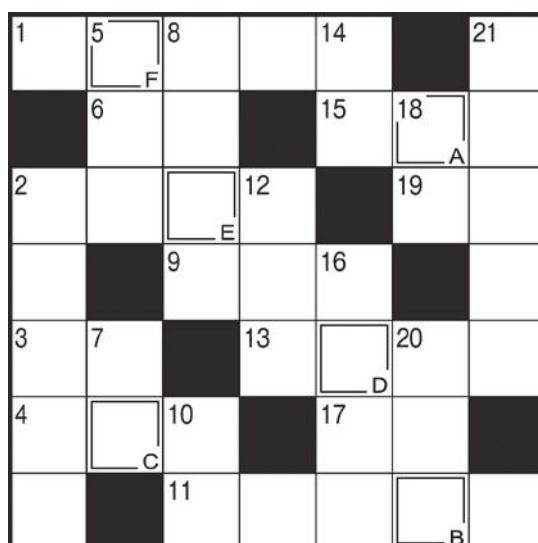
Q 二重マスの文字をA～Fの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

【タテのカギ】

- 2 押し入れの上に作られた物入れ
青物——へ野菜を卸しに行った
祝い事に付きものの魚
とても小さな滴が降ってきます
知識やひらめきを駆使して解きます
感謝の——を込めて花束を贈った
つらいことが続くことばしたくなることも
船の積み荷を地上に移すこと
能ある——は爪を隠す
サツマイモには食物——が豊富に含まれます
陰暦10月の異称

【ヨコのカギ】

- 1 野山の散策を楽しむレジャー
鶏肉の部位の一つ。羽の一部です
イノシシを家畜化したもの
沖縄にいる飛べない鳥、ヤンバル——
南米にある南北に細長い国
定規に刻まれているもの
アイボリーとも呼ばれる淡い黄白色
スマートフォンにはさまざまなデータが——
されています
軽くて硬い金属。元素記号はTi
ギョーザや中華まんの中身をこつ呼ぶことも
漢字から作られました



答えは広報「林檎の森10月号」にて掲載いたします。

8月号の答え A:マ B:ス C:カ D:ツ E:ト

表紙物語

今月の表紙は、8月25日に本所、相馬支所フルーツステーションにて行われたつがるときおのうの選果目揃え会の一コマである。

近年温暖化による日焼け果の抑制をする事と過度な着色を待つことによる果実の軟質化を防ぐため、新たに着色目安が設定された。このことから、生産者へ適期収穫を周知するために行われ、合計で約70人の生産者が訪れた。

冒頭では大場勉組合長が挨拶し、「近年、温暖化により着色が進まない反面、軟質化が進む状況であり、消費者の口に入る時点で軟らかくリンゴの本来の食味を届けられずにいます。その為、新しく設定した着色目安にご理解いただき、適期収穫をよろしく願います」と話した。

訪れた生産者らは、製品サンプルを見ながら抱えていた疑問を解決し、収穫に備えていた。



三上悟行販売部長の着色具合の説明に注目する生産者ら



黄色品種の難しい収穫適期を相談する生産者



女性生産者も気になる着色目安に注目



大場組合長も生産者の質問に対応

JA相馬村広報

りんごのもり
林檎の森

2021.9 Vol.470

■ 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■ 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■ 発行日
2021年9月15日

JA 相馬村概況

〈令和3年8月末日現在〉

組合員数	865 人
(うち准組合員数)	374 人
出資金	618,150 千円
貯金額	9,878,507 千円
共済保有高	3,228,600 万円